

広報・社会連携

広報目標：

戦略的かつ包括的な広報活動を通じて、**大学のレピュテーションを構築・管理し、神戸大学のブランディングに寄与する。**

## 広報戦略の展開

### 一般広報

ステークホルダーに届く広報  
ブランディングの確立  
愛校心を育てる仕組み作り

### 国際広報

海外ステークホルダーを拡大する  
本学の強みと今を届ける情報発信  
ブランド力と認知度を高め  
世界中から優れた人材を獲得

連携・情報  
の共有

### 入試広報

向上心の高い学生に届く広報  
優れた教育研究を  
学問の探究について学ぶ  
高校生に届ける

### 部局広報

#### 重点企画

重点テーマとコアコンセプトの作成 (2022-24)  
大学活動の可視化 (2022-30)  
ウェブサイトリニューアル (2022-24)  
プレスリリース制度の改善 (2022-23)

#### 成長企画

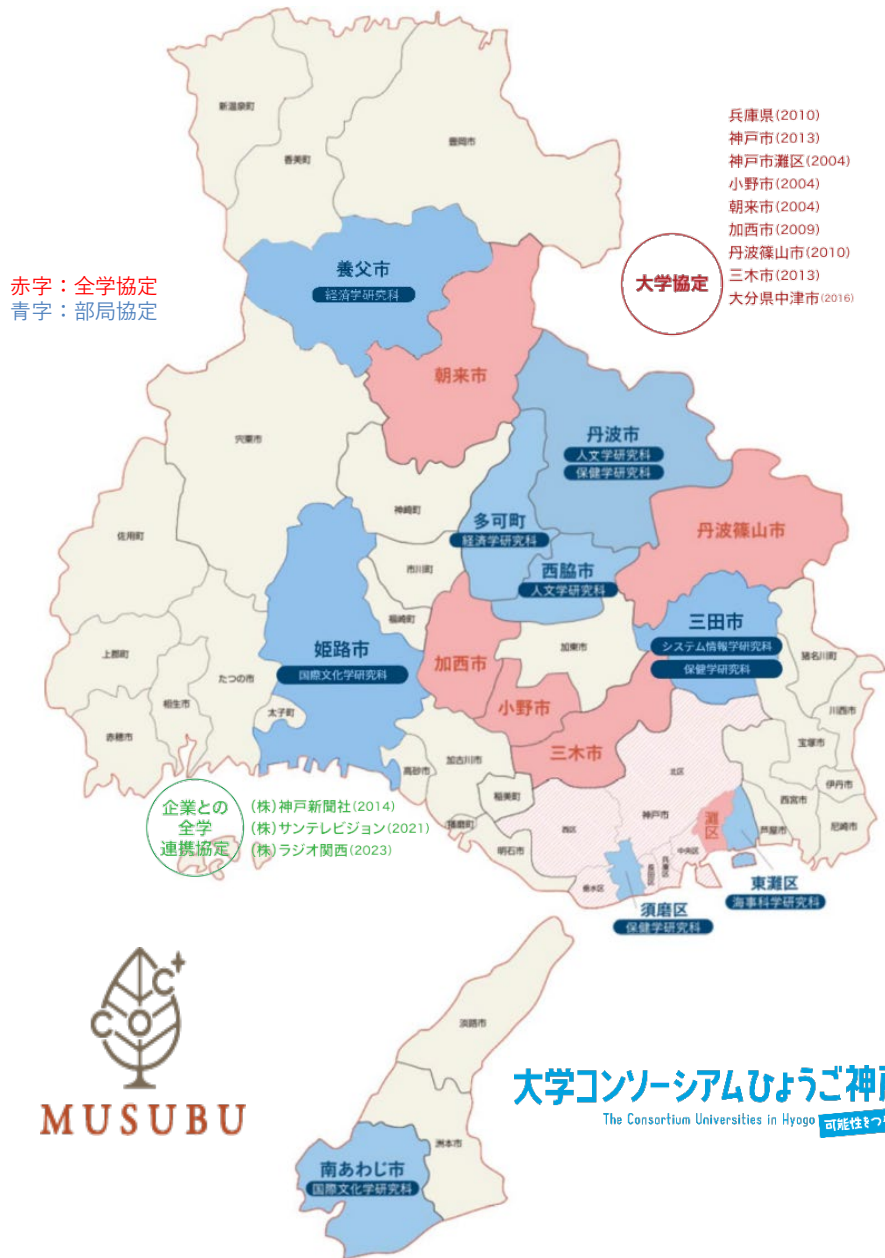
学生を巻き込んだ広報活動 (2022-30)  
メルマガ配信システムの改善 (2023)  
ステークホルダー分析 (2022-23)  
ブランディングの設定 (2022)  
学内コミュニケーションの強化 (2022-23)  
広報活動の評価測定 (2022-30)

#### 未来企画

学生・教員の情報発信力を強化 (2023-30)  
映像作成の強化、SNSの見直し (2023-24)  
ビジュアルブランドのレビュー (2023-24)  
学生の愛校心強化 (2023-30)  
印刷物の見直し (2023-24)

「広報戦略」では、大学が直面している課題を特定して、克服するために一貫した広報活動を実現していきます。

# 異分野共創型の地域連携事業の展開構想 ～地域連携推進本部の主な取り組み～



## 取組 1 自治体等との連携事業推進・協定締結

大学協定…大学全体として連携事業を推進（9自治体、3企業）  
部局協定…締結部局が中心となり連携事業を推進  
自治体からの外部資金獲得

## 取組 2 公募による学内部局・教職員・学生への地域連携支援

「地域連携事業（組織型）」…全部局対象の経費助成  
「地域連携事業（個人型）」…教職員向けの経費助成  
「学生地域アクションプラン」…学生向けの経費助成  
「大学と連携したまちづくりチャレンジ事業助成（灘区）」

## 取組 3 地域連携プラットフォームへの参加

大学コンソーシアムひょうご神戸  
ひょうご神戸プラットフォーム（COC+）  
大学都市神戸 産官学プラットフォーム（神戸市）

## 取組 4 地域創生に資する人材育成

共通教育科目…ひょうご神戸学、地域社会形成基礎論の開講  
『地域づくりの基礎知識』シリーズの活用、全国に普及

## 取組 5 ボランティア・社会貢献活動への支援

ボランティア団体への支援…ボラカフェ開催、物品貸出、相談  
学生ボランティアサポート…ボランティア活動経費助成  
登録ボランティア紹介冊子『地域に出る』の刊行と配布  
ボランティアと社会貢献活動の開講

# 地域連携プラットフォームによる組織連携



地域連携推進本部を中心に自治体、地域の大学との組織連携を推進することで  
ひょうご神戸の中核大学として地域活性化に貢献

## 大学コンソーシアム ひょうご神戸



(ひょうご産官学連携協議会)

県下大学による教育研究コンソーシアム

- ・地域の活性化に資する人材育成連携
- ・ひょうご神戸の国際性を生かしたグローバル教育支援
- ・県内大学の教育・研究の質を高める多元的学びの提供
- ・県内大学が活性化する大学間連携組織としての運営体制の構築

大学

31大学・7短大・  
1高専

自治体

兵庫県・神戸市等

経済界

兵庫県商工会連合会  
兵庫県中小企業家同友会  
兵庫県中小企業団体中央会

## 本学の参画状況

教育連携委員会委員長、国際交流、学生交流、  
キャリア、高大連携、FD・SDの委員会に参加

## 大学都市神戸 産官学プラットフォーム (R5年度設立)



市内大学と産業界による産官学連携プラットフォーム

- ・優秀な外国人留学生獲得
- ・大学カリキュラムとインターンシップ・就職活動との接続
- ・SDGsと連動する地域の課題解決
- ・大学教員や大学院生による出前出張研究室
- ・大学発ベンチャーの育成
- ・高等専門学校との連携
- ・企業法務担当者と法律を学ぶ学生との連携
- ・大学交流拠点（三宮センタープラザ）

神戸市内大学・短大・高専  
(予定)

神戸市

神戸商工会議所・神戸経済同友会  
三井住友銀行・NTT西日本など  
(予定)

発起大学として産官学連携プロジェクトを実施

## 地域創生に定める 実践力養成のための ひょうご神戸プラットフォーム



本学が採択された文科省「地(知)の拠点大学  
による地方創生推進事業(COC+)」の実施主体

- ・人材育成教育プログラムの開講  
ひょうご神戸学/地域社会形成基礎論
- ・連携協議会を定期開催し、情報交換

兵庫県立大学・神戸市看護大学・  
園田学園女子大学

兵庫県・神戸市

神戸商工会議所・兵庫県経営者協会・  
兵庫工業会・神戸新聞社

主幹大学として大学間連携の推進

# SDGs推進による社会連携の強化

「学理と実際の調和」という理念のもと、現状及び未来社会の課題を解決するための新たな価値の創造を通じて、SDGsへ貢献。

## 国際協力

### 現場との強い連携

- 国際協力研究科  
(JICA 開発大学院連携プログラム)
- 国際協力機構 (JICA) との包括連携協定に基づく連携事業
- 学術交流協定 (64ヶ国、375大学・研究機関)  
<https://www.office.kobe-u.ac.jp/ipiep/partners.html>

## 新しい技術・産業・社会の創出

- イノベーション創出 (全学部・大学院・その他施設)
- データ戦略の推進
- 異分野共創研究推進
  - ▶ グローバル課題、環境課題への行動
  - ▶ 価値を創造し産業界にメッセージを発信
  - ▶ ビジネス (社会実装) モデルの構築

## 教育と政策提言

- 異分野共創研究教育グローバル拠点
- アントレプレナーシップセンターを含む価値創造教育 (SDGs関連スタートアップ育成)
- PBL (Project Based Learning) や PoC (Proof of Concept) による実践的教育を通じた社会課題の解決
- リカレント教育
- ESG投資に向けたSDGs経営教育

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

本学の取り組み ▶ <https://www.sdgs.kobe-u.ac.jp/>

## 地域・自治体との連携

- SDGsフォーラム開催による連携と交流の場の提供
- 神戸大学SDGs研究交流会を通じた産官学連携行動の実施
- 神戸市との包括連携協定に基づく様々な連携と神戸ビジョン2025への協働的な取り組みの実施
- 地域企業との連携によるSDGs行動
- 2025大阪・関西万博への積極参加

## 人・学生アンバサダー

- JICAを通じた協働活動
- NPO法人アイセック・ジャパンを通じた協働
- ダイバーシティ&インクルージブキャンパス (男女共同参画)
- 神戸大学環境会議創設 (学生主導の政策提言とPDCA)

# リスキリングを中心としたリカレント教育

## 神戸大学DXリカレント教育事業(数理・データサイエンスセンター)

- DX基礎講座** (2科目、各科目：7回・15時間)  
主に企業や自治体、教育機関などの就業者を対象とした、DX課題を解決するDX人材を育成するeラーニング講座で以下の2科目で構成される。  
(1)データサイエンス・AI基礎 (15時間、eラーニング)  
(2)Python基礎演習 (15時間、eラーニング)  
データ・AI利活用の基礎、AI倫理・プライバシー保護、データ解析とPythonプログラミングの基礎を完全オンラインで、いつでもどこでも学ぶことができる。
- 次世代DXリーダー育成プログラム 課題解決型PBL** (6回・計30時間)  
DX・データサイエンスの基礎力をベースに、実践を中心とした「課題解決型学習(PBL)」を取り入れたDX人材に必要な知見を実際の業務で取り扱う課題をもとに学ぶことで、**DX即戦力**を養う。
- 企業と大学による価値共創を志向するDXエキスパート育成プログラム** (14回・計60時間)  
初等的なデータサイエンスを学習済みの方々を対象として、(1)データから意味を抽出し、現場にフィードバックする能力、(2)データサイエンス・AIを活用し、課題解決につなげる**実践的能力**を修得することを目指し、以下の2科目を一気通貫で学ぶ。  
(1)データサイエンス・AI実践ハンズオン：オンデマンド事前学習+リアルタイム遠隔講義  
(2)テーマ別課題解決型PBL：オンライン形式グループワーク  
(希望者にはコワーキングスペースを提供し、対面でのグループワークも可能)

## 大学教育における社会貢献

### 先端理系人材のイノベーション指向リスキリング (科学技術イノベーション研究科)

企業等において先端研究開発の実績を有する理系人材を対象に、企業のニーズ及び志願者のキャリアパスと、新分野の博士、マルチディグリー、あるいは学び直し等の多様な目的に対応した学位取得コースをマッチングするリスキリング教育学位プログラム (オーダーメイド型リスキリング教育学位プログラム) を活用して、アントレプレナーシップとディープサイエンス・ディープテックの研究開発力を兼ね備える科学技術イノベーション人材を育成する。

### 学内リソースの収集・活用と情報提供

### 地域共生社会の牽引人材を育成する重層支援Dxに関するリカレント教育 (保健学研究科)

保健学研究科社会人大学院生および高齢者介護・福祉事業の管理者を対象に約5か月間のプログラムを行い、認知症のみならず、うつ、痛み、フレイルなどの**高齢者の生活阻害因子に対応できる高い問題解決能力**を養い、更に数理・データサイエンスの知識に基づいて**リアルデータを活用できる力**を身に着けることで、現場と研究機関に成長循環を生み出す**医療・介護の次世代人材**を育成する。

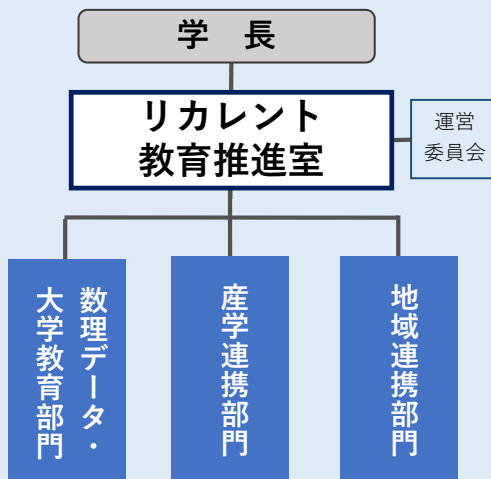
### 公開講座

実施目的：研究成果を広く社会に還元するため、本学の特色を活かした公開講座を実施する。

#### 令和5年度実施分

- 人文学研究科：人文学を解き放つ
- 人文学研究科：まちづくり地域歴史遺産活用講座
- 国際文化学研究科：日本語教育と社会のイタリクシヨ
- 医学研究科：ポストコロナにおけるヘルスケア
- 保健学研究科：最新の研究から家庭の保健・医療へ
- 工学部：SDGsに寄与する工学
- 海事科学研究科：近代日本 船のあゆみ

## リカレント教育推進室の設置 (R5.1)





# 基金活動の強化戦略

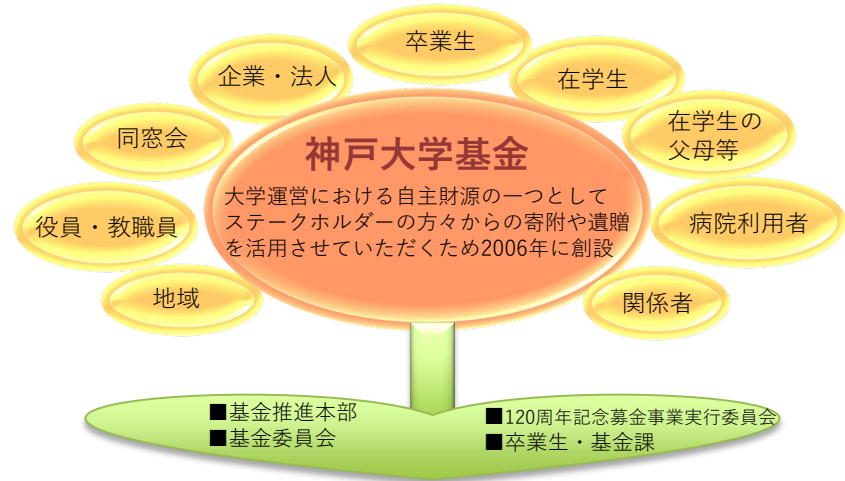
～安定した基金の獲得に向けた強化戦略～

神戸大学では特徴のある研究をリードし、社会の課題解決に貢献すると共に、世界・地域で活躍できる優秀で多様性に富む人材を輩出し続けるための、財政的支援を継続している。その支援の一つである基金活動を通じて、より多くのステークホルダーが大学への理解を深め、サポーターとして定着・純増することを目指す。

**【2022年度実績】**

・寄附受入額：10億9千8百万円

〈内訳〉	120周年記念基盤事業 (使途特定記念事業を含む)	3億円
	修学支援事業	2千9百万円
	特定の目的を持つ各種の事業	7千万円
	寄附者名称記念事業	3千4百万円
	寄附講座	6億6千3百万円



## 継続・強化していく取組

- 実績のフィードバックによる情報発信
- 大学の広報戦略と一体化した活動
  - ・基金活動報告書を通じた各方面への情報発信
  - ・創立120周年記念募金事業実行委員会を通じた学内への募金依頼
  - ・基金募金活動実施構成員の企業等訪問による募金依頼
  - ・KU-NetやHPを利用した広報の多様化
  - ・「課外活動団体OBOG会連合会」を通じた寄附への働きかけ
  - ・クラウドファンディング及びネーミングライツの積極的な学内周知
  - ・遺贈セミナーのPR拡大及び遺贈についての提携
  - ・基金フェロー制度における新たな取組
  - ・同窓会機関誌への寄附依頼状同封
  - ・基盤事業強化費率の見直し など



## 取組成果

- 学内教職員からの寄附の増加
- 企業等からの寄附の増加
- 公認課外活動団体への寄附受入の増加
- クラウドファンディングの実施件数の増加
- ネーミングライツの契約件数の増加
- 遺贈の拡大
- 基金フェローの増加
- 基盤事業強化費の増加

**【課題】**

- ・教職員が一丸となった寄附の周知・依頼・協力を行う体制の構築
- ・各学部別同窓会との連携による卒業生への寄附依頼体制強化
- ・創立120周年記念募金の募集期間終了(2024年3月末)以降の寄附者からの寄附受入額の維持

## 神戸大学出版会

【多様・多彩な出版実績】

- 専門書の出版
- 教科書の出版
- 地域連携事業成果の出版
- 啓蒙書（一般向・中高生向）の出版
- シンポジウム記録等の出版

社会への知の還元



教育・研究  
の強化

社会からの  
フィードバック



神戸大学生協  
「神戸大学出版会フェア」

## 出版会を活用した社会還元

### 出版会の現状

- 2017年4月1日設立
- 既刊23冊 累計販売数7000冊以上

#### 2022年4冊刊行

- 『ポーポキのマスクギャラリー』
- 『山口誓子を知る』
- 『コロナ禍の中小企業と法変化』
- 『ナチ・ドイツにおける労働動員』

#### 2023年5冊刊行

- 『人文学を解き放つ』
- 『ヨーロッパ文化遺産研究の最前線』
- 『価値の創造を考える』
- 『SDGsの時代における価値と経済的価値』
- 『財産権の大いなる誤解』

### 出版会の課題

- 出版会の体制整備  
(実質担当者：兼任1名のみ)
- 専任編集者の確保
- 販売ルートの拡充
- 販売促進
- 出版会出版基金の拡充
- 各種出版助成の獲得
- 安定的な出版原資の確保
- 新たな出版形態  
(電子出版等) への対応

### 出版会の目指す方向

- 出版物デザイン・内容の向上と維持
- 出版企画作成支援
- 大学の知を集約し、研究を推進するとともに、それを社会還元する継続的な出版物（シリーズ）の企画・刊行
- 紙とインクによる制作を継続するとともに、DX時代の出版形態も検討
- 同窓会/広報担当等との連携推進



# 同窓会を基盤とした社会貢献機能の強化



## 大学の発展とプレゼンス・ブランド価値向上 世代・地域を越えたコミュニティ発展を目指して

神戸大学創立120周年を機に設置した「神戸大学校友会（KU-Alumni）」を本格稼働させ、各学部等同窓会、卒業生、在学生、教職員、在学生の父母等の連携をさらに密にし、**One Kobe Family**としての活動を展開する



### 神戸大学校友会が取り組む主な事業

#### “One Kobe Family”として絆を強化する事業

- ・ロゴマーク制定
- ・One Kobe Familyイベント（総会、新入生歓迎イベント）
- ・会員証の発行
- ・オリジナルグッズ制作 など

#### 大学と会員、会員相互の交流・親睦を促進するための事業

- ・ホームカミングデイ等への共催
- ・東京オフィスの活動に対する広報支援

#### 学生、生徒等校友会会員を支援するための事業

- ・六甲祭、学生表彰への支援
- ・各種施設利用特典の導入

#### 学部等同窓会・校友会支部等への協力事業

- ・校友会ニュースレターの発行等広報活動
- ・学部等同窓会会費の徴収業務代行

# 2030年までのロードマップ



	第4期						第5期
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028～2030年度
広報機能の強化	Webサイトリニューアル						大学のプレゼンス向上のための持続的な広報体制の確立
	学生・教員の情報発信力を強化						
	大学の活動を可視化						
異分野共創型地域連携事業の展開	包括連携協定の締結（新規6件）						異分野共創型の地域連携の全国的モデルの形成
	新規地域連携拠点の拡大（新規24件）						
	地域連携推進プラットフォーム（ひょうご神戸プラットフォーム）の強化						
リスクリングを中心としたリカレント教育	学内リソースの収集・活用、校友会との連携による潜在的ニーズの把握						
基金活動の強化	120周年募金の展開		基盤事業への募金及び支援の強化				世界・地域に貢献できる研究支援と人材育成支援のための基金構築
	遺贈についての提携拡大と広報体制充実			OBOGへの働きかけ強化 ネーミングライツとクラウドファンディングの強化			
	出版会の体制整備		出版会の財政的な基盤確立と大学の知を集約し、社会的に発信できる出版体制の強化				
	生涯メールアドレスの導入						
出版会等を活用した教育・研究の強化と社会的還元	校友会設立		One Kobe Familyとしての活動展開、校友会の事業拡大				大学出版会としての社会的地位の確立
同窓会を基盤とした社会貢献機能の強化	同窓生・教職員・多様な大学関係者の交流組織の充実						